

## HF コンテスト - 一般ルール

### 1. 一般ルール:

1.1. すべてのARRL主催コンテストに適用される一般ルールも参照のこと

1.2. クロスモードのQSOは無効

1.3. ARRL主催コンテストのハイパワー部門に適用される各バンドにおけるトータルの最大出力は1500W PEPまたは該当国の法律で定める最大出力のどちらか低い方

2. 参加部門: ARRL主催のHFコンテストの参加部門は以下に定義される. 各コンテストのルールでどの参加部門が存在するのか、また追加で存在する部門を確認のこと

2.1. シングルオペレーター: 一人ですべての送信、受信、ロギングおよび設備やアンテナの調整を行うこと

2.1.1. スポットやネット等(オペレーター以外の他人がQSOをアレンジしたり、パケット、ネットの使用、CW Skimmerに代表されるマルチチャンネルデコーダー等)の使用は禁止

2.1.2. シングルオペレーター局はいかなる瞬間も1波のみの送信が許される

2.1.3. シングルオペレーターは送信出力によって以下の部門に分かれる

2.1.3.1. QRP: 5W PEP以下

2.1.3.2. ローパワー: 150W PEP以下

2.1.3.3. ハイパワー: 150W PEP超(1.3.を参照)

2.2. シングルオペレーターアンリミテッド: 一人ですべての送信、受信、ロギングおよび設備やアンテナの調整を行うこと(2.3.1.1.を参照)

2.2.1. スポットやネット等(オペレーター以外の他人がQSOをアレンジしたり、パケット、ネットの使用、CW Skimmerに代表されるマルチチャンネルデコーダー等)の使用が認められる

(例外: 自局の敷地外から外部に公開していない回線やネットワークを通して得たパケットやCW SKimmerスポットの使用は禁止)

2.2.2. シングルオペレーターアンリミテッド局はいかなる瞬間もスポット等への送信を除いて1波のみの送信が許される

2.3. マルチオペレーター: 複数人で送信、受信、ロギング等を行う. マルチオペレーターは以下の部門に区分される

2.3.1. マルチオペレーターシングルTX: いかなる瞬間も1波のみの送信が許される

2.3.1.1. シングルオペレーターアンリミテッド部門の設定のないコンテストではシングルオペレーターでネットやパケットなどを使った場合はこの部門となる

2.3.1.2. ロギングの補助や交代のオペレーターを使った場合を含む

2.3.1.3. 毎時6回までのバンドチェンジが許される

2.3.1.3.1. 毎時とは毎時00分から59分までのこと

2.3.1.3.2. バンドチェンジとは例えば20mから40mに移り、その後20mに戻った場合は2回と数える

2.3.1.4. 6回のバンドチェンジルールの違反や不適切なロギングはマルチオペレーターマルチTX部門への参加とみなされる

2.3.2. マルチオペレーター2TX

2.3.2.1. いかなる瞬間も異なるバンドで2波までの送信が許される

2.3.2.2. それぞれの送信機は毎時6回までのバンドチェンジが許される. 片方の送信機のバンドチェンジの未使用回数を他方の送信機のバンドチェンジに充当することはできない

2.3.2.2.1. 毎時とは毎時00分から59分までのこと

2.3.2.2.2. バンドチェンジとは例えば20mから40mに移り、その後20mに戻った場合は2回と数える

2.3.2.2.3. 6回のバンドチェンジルールの違反や不適切なロギングはマルチオペレーターマルチTX部門への参加とみなされる

2.3.2.3. 双方の送信機ともすべての局とのコンタクトに使用できる; 2台目の送信機はニューマルチのみのコンタクトに制限されない. しかしどちらの送信機でコンタクトしたかに関わらず同一局とのコンタクトは1バンドで1回のみ

2.3.2.4. 双方の送信機共に別々に時間順のログを記録すること

2.3.2.5. カブリログに各コンタクトがどちらの送信機で行われたか明記のこと

### 2.3.3. マルチオペレーターマルチTX

2.3.3.1. いかなる瞬間も一つのバンドで1波のみの送信が許される

2.3.3.2. 各バンドごと、時間順のログを記録すること